

過去最高人数となる76企業・団体／906名が参加する東京駅周辺エリアの大規模清掃活動
昨年12月に完成の東京駅「丸の内中央広場」も約300名で一斉清掃

『第10回 東京エキマチ キラピカ作戦』を実施

実施日：2018年7月19日(木) 開会式 8:05／清掃活動 8:20～9:30

東京ステーションシティ(運営：東京ステーションシティ運営協議会)、NPO法人 大丸有エリアマネジメント協会、八重洲・日本橋・京橋地域は共同で、2018年7月19日(木)に、東京駅周辺エリアの就業者・在住者による合同清掃活動『第10回 東京エキマチ キラピカ作戦』を実施します。

節目の第10回を迎える今回は、JR東京駅関係者、丸の内・八重洲エリアの就業者や在住者など、過去最高人数となる76企業・団体の合計906名が参加予定。清掃エリアは、東京駅(構内・敷地内)、行幸通り、丸ビル・新丸ビル周辺、八重洲・日本橋・京橋から成る「東京エキマチ」エリアです。合わせて約70万平方メートルにも上る同エリアに溜まった駅の煤や歩道の空き缶、ゴミ拾いなどの清掃活動を行う予定です。

また、今回初めてとなる試みとして昨年12月に完成した東京駅「丸の内中央広場」の一斉清掃を実施。全エリアの参加者のうち約300名が「丸の内中央広場」に集合し、花崗岩敷石でつくられた床面や石椅子に日頃溜まった汚れをブラシで丁寧に清掃します。

東京ステーションシティでは、『第10回 東京エキマチ キラピカ作戦』を通して綺麗になった「丸の内中央広場」で、日本全国や世界各地から東京駅を訪れるお客さまをお出迎えしてまいります。



写真は昨年の実施風景

『東京エキマチ キラピカ作戦』について

『キラピカ作戦』は、「綺麗で快適な駅でお客さまをお迎えしよう」という趣旨のもと2002年にスタートした清掃活動です。多くのお客さまが東京駅をご利用される夏休み前と年末前の年2回、JR東日本東京駅と関係する事業者が集まり、自主的な清掃活動として取り組んでまいりました。

2013年から徐々に清掃範囲・参加事業者が拡大。2015年からは大手町・丸の内・有楽町エリアで、『大丸有キラピカ作戦』が同時開催されました。そして2016年からは、八重洲・日本橋・京橋地域においても、地域就業者・在住者が以前から定期的に行っていた清掃活動の一部を『八重洲・日本橋・京橋キラピカ作戦』として同時開催する運びとなり、全エリアを『東京エキマチ キラピカ作戦』と称して、駅と街が一体となった清掃の取組みが広がっています。

※本資料に記載の情報は、2018年7月13日(金)現在の情報であり、「予定」を含みます。

『第10回 東京エキマチ キラピカ作戦』実施概要

『第10回 東京エキマチ キラピカ作戦』全体概要

清掃日時: 2018年7月19日(木) 開会式 8:05/清掃活動 8:20~9:30

参加人数: 76企業・団体/906名(2018年7月11日現在予定)

※『東京ステーションシティ キラピカ作戦』『大丸有キラピカ作戦』『八重洲・日本橋・京橋 キラピカ作戦』の合計

●『東京ステーションシティ キラピカ作戦』概要

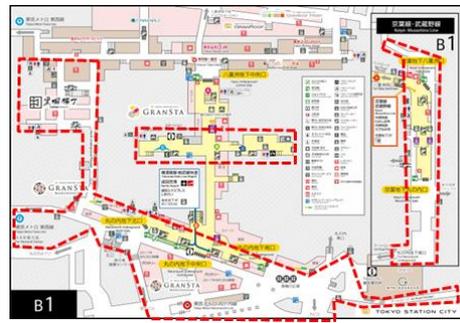
清掃エリア: JR東京駅

参加者数: 東京ステーションシティ運営協議会会員各社、JR東日本関連企業など合計34企業・団体/510名(2018年7月11日現在予定)

主催: 東京ステーションシティ運営協議会

協力: 株式会社鉄道会館

清掃エリア:



「丸の内中央広場」について

歴史と文化が感じられる丸の内地区の中心的存在となる東京駅丸の内駅舎(重要文化財指定)の保存・復原工事の完成(2012年10月)に引き続き、その丸の内駅舎とともに本地区の象徴空間となる「丸の内中央広場」の整備が進められました。

「丸の内中央広場」については、2014年8月より工事が進められ、2017年12月7日(木)から全面供用開始となりました。広場内を横切るように大きな部分を占めていた都道を広場外周に再整備(都市計画道路幹線街路補助97・98号線)し、丸の内中央広場の南北に路線バス・タクシー等の交通結節機能を集約。日本のセントラルステーションに相応しく、日本の豊かな四季を彩るサクラやモミジなどの木々が植えられています。



●『大丸有キラピカ作戦』概要

清掃エリア: 行幸通り、丸ビル・新丸ビル周辺

参加者数: 三菱商事(株)、日本郵便(株)など
合計15企業・団体/114名
(2018年7月11日現在予定)

主催: NPO法人 大丸有エリアマネジメント協会

協力: (一社)大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会
(一社)大丸有環境共生型まちづくり推進協会

●『八重洲・日本橋・京橋 キラピカ作戦』概要

清掃エリア: 八重洲・日本橋・京橋エリア

参加者数: 東京建物(株)、戸田建設(株)など
合計27企業・団体/282名
(2018年7月11日現在予定)

事務局: 東京建物(株)



『第10回 東京エキマチ キラピカ作戦』清掃エリア

参考:『第10回 東京エキマチ キラピカ作戦』補足情報

【1】参加企業一覧

▼『東京ステーションシティ キラピカ作戦』参加企業(順不同)

ジェイアールバス関東(株)、(株)鉄道会館、(株)ジェイアール東日本ビルディング、日本ホテル(株)、(株)JR東日本リテールネット、(株)日本レストランエンタプライズ、ジェイアール東日本フードビジネス(株)、(株)JR東日本ウォータービジネス、(株)ジェイアール東日本商事、(株)ジェイアール東日本物流、(株)びゅうトラベルサービス、ジェイアール東日本レタリース(株)、JR東日本スポーツ(株)、(株)ジェイアール東日本都市開発、(株)ビューカード、(株)JR東日本テクノハート TESSEI、(株)東日本環境アクセス、(株)JR東日本ステーションサービス、セントラル警備保障(株)、公益財団法人 東日本鉄道文化財団、(株)JR東日本パーソナルサービス、東日本旅客鉄道(株)、(株)ジェイアール東日本企画、(株)東京ステーション・サービス、東海旅客鉄道(株)、東京地下鉄(株)、(株)はとバス、三井不動産ビルマネジメント(株)、大和証券(株)、(株)大林組、鹿島建設(株)、(株)大丸松坂屋百貨店、岡谷鋼機(株)、東京ステーションシティ運営協議会 合計 34 企業・団体

▼『大丸有 キラピカ作戦』参加企業(順不同)

(株)パレスホテル、(株)セールスフォース・ドットコム、中央不動産(株)、丸の内熱供給(株)、日本郵便(株)、(株)丸の内ホテル、公益社団法人経済同友会、(株)鉄鋼ビルディング、三菱商事(株)、明治安田生命保険相互会社、(株)サッポロライオン 銀座ライオン LEO TEKKO avenue 店、三菱地所(株)、一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会、一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会、NPO 法人 大丸有エリアマネジメント協会 合計 15 企業・団体

▼『八重洲・日本橋・京橋 キラピカ作戦』参加企業(順不同)

戸田建設(株)、(株)大林組、大成建設(株)、清水建設(株)、(株)高島屋 日本橋店、(株)スーパーホテル、(株)イトーキ、ユニバーサルビジネスソリューションズ(株)、シンゲンメディカル(株)、富国生命保険相互会社、(株)クイックコンサルティング、IHS Markit、サンワテクノス(株)、東芝三菱電機産業システム(株)、(株)大都技研、サントリー食品インターナショナル(株)、日本土地建物(株)、日本橋三丁目西町会、八重洲一丁目東町会、東京建物(株)、東京建物不動産販売(株)、東京建物不動産投資顧問(株)、東京建物アメニティサポート(株)、東京不動産管理(株)、(株)東京リアルティインベストメントマネジメント、(株)プライムブレイス、東京建物リゾート(株) 合計 27 企業・団体

【2】これまでの歩み

- 2002 年 (株)鉄道会館主催で同社の営業エリア(東京駅内の商業施設等)の清掃活動として「キラピカ作戦」を初開催
- 2010 年 JR東日本東京駅がキラピカ作戦に参加。東京駅全体の清掃活動へと発展
- 2013 年 第1回 東京ステーションシティ キラピカ作戦実施【27 企業・団体／約 300 名参加】
→東京ステーションシティ運営協議会主催として初開催
- 2015 年 第4回 TSC キラピカ作戦実施【36 企業・団体／約 400 名参加】
→NPO 法人 大丸有エリアマネジメント協会主催の『大丸有キラピカ作戦』同時開催
- 2016 年 第6回 東京駅周辺キラピカ作戦実施【53 企業・団体／約 630 名参加】
→八重洲・日本橋・京橋エリアで『八重洲・日本橋・京橋キラピカ作戦』同時開催
→全エリアのキラピカ作戦の総称として「東京駅周辺キラピカ作戦」と命名
- 2017 年 第8回 東京エキマチ キラピカ作戦実施【69 企業・団体／785 名参加】
→エリア拡大の思いを込めて「東京エキマチ キラピカ作戦」に改名

【3】「東京ステーションシティ」と「東京ステーションシティ運営協議会」について

「東京ステーションシティ(TOKYO STATION CITY)」は、東日本旅客鉄道株式会社(JR東日本)が、東京駅とその周辺エリアを“一つの大きな街”と捉え、駅構内、丸の内口、八重洲口、日本橋口などの周辺エリアを「東京駅が街になる」というコンセプトのもと 2006 年に命名しました。

その後、同エリアの魅力を最大限に引き出し、エリア全体の価値を継続的に高めていくことを目的とし、2013 年 6 月、東日本旅客鉄道株式会社と東京ステーションシティに関係するJR東日本グループ 24 社(公益財団法人を含む)※を会員とする「東京ステーションシティ運営協議会」が発足。東京ステーションシティに関する情報発信・イベントの企画実施・エリア内環境整備などの活動を通して同エリアの活性化に取り組んでいます。

※ジェイアールバス関東(株)、(株)鉄道会館、(株)ジェイアール東日本ビルディング、日本ホテル(株)、(株)JR東日本リテールネット、(株)日本レストランエンタプライズ、ジェイアール東日本フードビジネス(株)、(株)JR東日本ウォータービジネス、(株)紀ノ國屋、(株)ジェイアール東日本商事、(株)ジェイアール東日本物流、(株)びゅうトラベルサービス、JR東日本レタリース(株)、JR東日本スポーツ(株)、(株)ジェイアール東日本都市開発、(株)JR東日本パーソナルサービス、(株)ビューカード、(株)JR東日本テクノハート TESSEI、(株)東日本環境アクセス、(株)JR東日本ステーションサービス、JR東日本ビルテック(株)、JR東日本メカトロニクス(株)、セントラル警備保障(株)、公益財団法人東日本鉄道文化財団 計 24 社